

アフリカにおけるマメ類・イモ類の生産性向上 のための研究開発（継続）

【53(52)百万円】

対策のポイント

アフリカの食料・栄養不足の改善及び農家・加工業者・消費者の生活水準の向上に貢献するため、アフリカで食料及び換金作物として重要なマメ類及びイモ類の生産性の向上を目指した研究開発及びその成果の普及を支援します。

<背景/課題>

- ・アフリカでは、気候や土壌等の栽培条件に恵まれないことに加え、伝統的な主食のうちマメ類及びイモ類については、研究の遅れや情報不足のため、低い生産性となっています。
- ・マメ科のササゲについては、高収量・高付加価値ササゲの育種及び栽培期間を短縮することで干ばつリスクを回避できる早熟する新品種の早期普及による生産性の向上、ヤムイモについては、栽培技術の改善や地域に適応した優良系統の選抜により生産性の改善を図る必要があります。

政策目標

- 対象地域におけるササゲの生産性が3割向上、ヤムイモの生産性が4割向上

<主な内容>

1. 高付加価値ササゲ品種の開発とその種子の生産システムによる普及の迅速化と有効性検証—大規模普及スキームの開発—

(1) 高収量・高付加価値ササゲの育種

ササゲのマーケットニーズを把握し、農家の現金収入増加のための高付加価値ササゲの育種を行います。

(2) 優良種子生産システムの開発・実証

育成された新品種を普及するため、小規模地域で確立された優良種子生産・流通システムをより広い地域で適用可能なシステムに発展させるためのスキームを開発し、実証・評価します。

（ 拠出先：国際熱帯農業研究所（IITA）
事業実施期間：平成25年度～平成29年度 ）

2. 西・中央アフリカにおけるイモ類増産のための研究開発

(1) ヤム栽培の生産性及び持続性向上のための土壌肥培管理技術の開発

生産性の向上と持続性のバランスを考慮した土壌肥培管理技術を開発・普及します。

(2) ヤム遺伝資源の特性評価及び選抜技術の改良

アフリカ各国の研究機関において、主要な産地の農家及び消費者のニーズに合った優良系統を選抜・普及するためのヤム遺伝資源の特性評価及び選抜技術の改良を行います。

（ 拠出先：国際熱帯農業研究所（IITA）
事業実施期間：平成25年度～平成27年度 ）

（お問い合わせ先：大臣官房国際部国際協力課（03-3502-5913（直））
農林水産技術会議事務局国際研究課（03-3502-7466（直））

アフリカにおけるマメ類・イモ類の生産性向上のための研究開発

アフリカの食文化に根ざした作物



ササゲ

ヤマイモ

西欧では「作物」との認識ない

研究や支援の対象とされない「孤児作物」



ソウル
フード

我が国は「コメ」の支援(アフリカライス)を行っているが、西アフリカの食文化に根ざした作物(ソウルフード)を支援することも重要

我が国の技術による生産性向上

我が国には同様の作物が存在



ササゲ

ダイジョ(ヤマイモの一種)

- ・アフリカ原産
- ・育種技術有

- ・沖縄で生産
- ・栽培技術有

ササゲの品種改良のための研究開発・普及(国際熱帯農業研究所)

高収量・高付加価値ササゲの育種

ササゲのマーケットニーズを把握し、農家の現金収入増加のための高付加価値化ササゲの育種



市場のニーズ

高収量で付加価値が高く市場で高く売れるササゲを



優良種子生産システムの拡大(2011年ブルキナファソ国大統領賞を受賞)

新品種の普及を支援するため、新たに東北部(年間降水量300-500mm)や南西部(年間降水量1500mm程度)を対象地域に加え、本システムの適用地域を拡大
サヘルからサバンナまでをカバー



次なる大統領賞を!

ヤマの生産性向上のための研究開発・普及(国際熱帯農業研究所)

ヤマ栽培の生産性及び持続性向上のための土壌肥培管理技術の開発

ヤマ遺伝資源の特性評価及び選抜技術の改良



- 開発された土壌肥培管理技術の普及
- 選抜された優良系統ヤマの配布



期待される効果

- 対象地域におけるササゲの生産性の3割向上、ヤマイモの生産性の4割向上
- アフリカの食料・栄養不足の改善、農家・加工業者・消費者の生活水準の向上
- 我が国の食料安全保障の確保